

## 平成 29 年度第 5 回公立大学法人滋賀県立大学経営協議会議事録

日時・場所：平成 30 年 3 月 5 日（月）13 時 30 分～15 時 50 分 評議会室

出席者：廣川理事長、堺井副理事長、倉茂理事、山根理事、田端理事、上原委員、  
小出委員、須江委員、村山委員、渡辺委員

欠席者：高橋委員

事務局：中嶋事務局次長、山田総務グループ統括、三和田財務グループ統括、吉野経営企  
画グループ統括、北村学生・就職支援グループ統括、藤川教務グループ統括、草  
川地域連携推進グループ統括、中川副参事、上田主任主事

### 議 題

#### 【審議事項】

##### （1）第 3 期中期計画 平成 30 年度・年度計画案について

最初に理事長から、資料に基づき第 3 期中期計画の変更箇所について説明があった。  
その後、理事長、副理事長、各理事より、資料に基づき平成 30 年度計画案について説  
明があり、質疑・意見交換を行った。委員からは以下のような意見があり、出された意  
見等も踏まえて検討することとし、承認された。

- ・地域連携コーディネーターに関して、地域とのむすびつきを強め、共同研究等を進めるため、活動を広げられるとよいのではないか。
- ・研修参加率 100%を目指すとするが、カウントの仕方の検討や研修機会の確保、工夫が必要ではないか。
- ・時間外勤務の縮減には、業務の見直しや工夫も必要ではないか。
- ・SDGs については、項目を整理し、国内や県レベル、地域レベルでの指標に落とす必要があり、地域の問題としてどう取り扱うのか整理する必要があるのではないか。
- ・SDGs の学生大会について目的を整理しておく必要があるのではないか。
- ・SDGs を地域に置き換え専門的に説明できる人材の育成もお願いしたい。
- ・SDGs については、県の経済団体等とも連携されるとよいのではないか。
- ・ブランド力向上のために、他の大学とも連携し、参考にして進められるとよいのではないか。
- ・地域における Society 5.0 への取り組みは今後必要であり、年度計画の何処かに入れてもよいのではないか。

(2) 平成30年度予算(案)について

三和田財務グループ統括から、資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。なお、委員からは以下のような意見があった。

- ・収入を確保するため、URAも活用し、国の補助金や外部資金の獲得を目指していただきたい。

(3) 学内規程等の改正について

山田総務グループ統括および吉野経営企画グループ統括から資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。なお、委員からは以下のような意見があった。

- ・構成員と経営サイドとのコミュニケーションはよくしていただきたい。

今後は、教職員団体と十分に議論をしてある程度了承されたうえで経営協議会に諮るようにはしていただくのがよいのではないかと。

また、課題があれば早めに教職員団体と議論をするようにはしていただくのがよいのではないかと。

**【報告事項】**

(1) 平成29年度第3四半期予算執行状況および決算見込みについて

資料に基づき三和田財務グループ統括から報告があった。

委員からは、以下のような意見があった。

- ・施設が古くなってきており、県への説明も含め、抜本的な対策を講じ、設備や建物の更新に力を入れていかれた方がよいのではないかと。

**【意見交換】**

(主な意見)

- ・「数値で見る滋賀県立大学2017」で、例えば、以前低かった人間看護学部の休学率や退学率が高くなってきており、原因分析が必要ではないかと。また、教育経費が減少傾向にあるが、ステークホルダーから見てもどうかということにもなる。ガバナンスとして指標をもう少し分析されると、よりよいマネジメントになるのではないかと。

**【その他】**

(1) 平成30年度経営協議会委員について

理事長から報告があった。

(2) 平成30年度経営協議会開催日程について

資料に基づき吉野経営企画グループ統括から連絡があった。

**【資料配布】**

(1) 数値で見る滋賀県立大学 2017 について

(2) 平成29年度卒業・修了予定者の進路・就職内定状況について

(3) 平成30年度特別選抜試験結果および一般選抜志願状況等について

(4) 大学院副専攻「ICT 実践学座」の設置について